

外務省の令和6年度宇宙関係予算の概要（総額約3億円）

国際的なルール形成の推進 （約0.17億円）

宇宙空間における法の支配を実現し、宇宙空間の持続的かつ安定的な利用を確保すべく、将来の宇宙活動の在り方を見据えながら、多国間の枠組み等における議論に積極的に関与し、実効的なルール形成に一層大きな役割を果たす。また、宇宙新興国の能力構築支援等を通じ、宇宙活動の透明性向上及び信頼醸成に寄与する。

- 国連宇宙部拠出金（約0.16億円）
- 宇宙法専門家等派遣経費（約0.01億円）

国際宇宙協力の強化 （約0.13億円）

多国間の枠組み等における議論や二国間対話等を通じ、安全保障分野における宇宙の重要性や経済社会の宇宙システムへの依存度の高まりに関する認識を共有しつつ、宇宙分野における重層的な国際協力を推進する。

【主な取組の例】

- ・ 国連宇宙空間平和利用委員会（COPUOS）及び関連会合
- ・ 宇宙に関する包括的日米対話
- ・ 日仏包括的宇宙対話
- ・ 日EU宇宙政策対話
- ・ 日印宇宙対話
- ・ 日米豪印宇宙作業部会 他

宇宙アセットによる情報収集 （約2.51億円）

■ 衛星画像判読分析支援

安全保障分野等における省内ニーズに基づき、衛星画像等の分析を実施し活用。

そのための設備や機材の調達・保守、及び関連データ収集等を実施。

これにより我が国の安全保障政策や大規模災害等の危機管理等にデータを活用できる。

